



年頭のあいさつ



議長 稲川 和成

安心して暮らせる
「わがまち川口」の実現に向けて

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしく希望に満ちた初春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国的には、埼玉県に縁の深い2人の科学者がノーベル賞を受賞するとともに、体操の世界選手権において日本男子チームが世界大会で37年ぶりの団体金メダルを獲得するなど、文武にわたり日本人が世界のひのき舞台上活躍する姿に誇らしさを感じるニュースが多くありました。

一方、本市議会の活動を振り返りますと、昨年4月に市議会議員選挙が実施され、42人の議員が市民の皆様の信任を受けて当選しました。そして5月に開催された臨時会において正副議長

を選出し、新たな体制での議会をスタートいたしました。

また、6月定例会では、市民サービスのさらなる向上と安全で安心して暮らせる環境づくりを目指し、「都市機能・新庁舎建設特別委員会」を、川口の将来を担う子ども達の健やかな成長を図るため、「子育て・教育環境向上対策特別委員会」を、定任支援を含めた良好な住環境の整備を目指し、「住環境整備・人口問題特別委員会」をそれぞれ設置し、行政が抱える諸問題について議論を重ねております。

新年を迎えるにあたり、二元代表制の一翼を担う議会といたしましては、市民の代弁者である議員一人ひとりが、議会での議論を通じて、市政に対する

監視機能や政策立案能力を更に発揮し、市民の皆様が安心して暮らせる「わがまち川口」の実現に向け、努めて参る所存です。

今年の干支は「さる」ですが、猿は俊敏な身のこなしが身上です。社会情勢や人々のニーズが目まぐるしく変化する現代社会において、市民の皆様とのニーズをいち早く捉え、着実に応えていけるよう、全議員一丸となって取り組んで参りますので、より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、健やかで幸せな年となりますことを心から祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



市長 奥ノ木 信夫

「選ばれるまち川口」を
目指して

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかに平成28年の新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

本市では昨年4月に人口59万人に達し、毎月増加しており、政令指定都市を除けば全国で3番目の人口を有する大都市として成長を遂げています。

こうした中、10月に開催した「川口市産品フェア2015」には、市民の皆様をはじめ多くのかたがたに来場いただき、市産品を広くPRすることができました。私はこのフェアを通じて地元企業の育成・振興の取り組みが乗数効果をもたらし、地産地消を機軸とした市内経済の好循環が促進されるものと確信しております。

また、昨年は「元氣・川口商品券」の発売、新市立高等学校の校舎棟建設工事の着工、中学校教室及び市立幼稚園へのエアコン設置、子育て世代を応援する「赤ちゃんにっこり応援金」の支給開始、生活困窮者の把握と支援を行うため事業者と連携体制協定を締結するなど、幅広い事業を展開することができました。

これらはひとえに、市民の皆様のご理解・ご協力の賜物と、改めまして心から感謝と御礼を申し上げます。

本年は本市の地方創生の道筋を示すべく（仮称）川口市まち・ひと・しごと創生総合戦略・人口ビジョン」を策定し、市内経済活性化策をはじめとした多様な分野に及ぶ戦略に鋭意取り

組んで参ります。

また、保育所待機児童の解消に向け、保育所の整備を進めるとともに、私立幼稚園での長時間の預かり保育や私立幼稚園就園奨励費補助事業の拡充を検討するほか、小学校教室へのエアコン設置（仮称）川口市火葬施設の建設事業、平成30年4月1日の中核市移行に向けた市保健所設置のための準備を着実に進めるなど、さまざまな取り組みを推進し、多くの人から定住先として選ばれる元氣なまちを目指し、市政運営に全力を尽くして参ります。

結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして、明るく希望あふれる飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。